



United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization (UNESCO)

開倫ユネスコ協会 10周年記念式典・シンポジウム

11月17日、170名の御参加の皆様を迎え、足利市民会館別館ホールにおいて、開倫ユネスコ協会創立10周年記念シンポジウムを開催致しました。御参加の皆様、また関係者の皆様に御礼申し上げます。

記念式典では、開会セレモニーの後、東日本大震災復興を願い、御参加の皆様の心温まる寄付金と(株)アーバン様からいただいた眼鏡の目録を、開倫ユネスコ協会林明夫会長から、大船渡ユネスコ協会および釜石ユネスコ協会へお渡し致しました。一日も早い復興をご祈念申し上げます。



基調講演 小林恵智氏



会場の様子

開倫ユネスコ協会10周年記念式典のメインテーマ「人間の安全保障の推進をめざして」の基調講演を行いました。講師には、財団法人職業資格取得支援協会理事長小林恵智様（教育学・経済学博士）をお迎えし、『よく生きるとは一人間の安全保障の観点から東日本復興を考えるー』というテーマで、大変示唆に富むご講演を頂きました。今後は、「人間の安全保障」や東日本大震災の復興を目指し、「よく生きる」とは何かを考え、世界哲学の日を迎えたいと思います。

続いて、「記念シンポジウム」が開催されました。パネラーとして山口康文様（大船渡ユネスコ協会総務部長）、秋元厚子様（釜石ユネスコ協会会長）、神野美智男様（有朋学園校長）、馬里邑れい様（作家）、基調講演の小林恵智様、そして林明夫（開倫ユネスコ協会会長）がコーディネーターを務め、東日本大震災の実情報告や今後の復興支援などについて活発な意見交換が行われ、大変有意義なシンポジウムとなりました。

また、被爆2世のアオギリの苗木をまちだ・さがみユネスコ協会、スプリングユネスコクラブを通じ、広島市長よりお送り頂きました。今後、平和のシンボルとして伝えて参りたいと思います。

今後も当協会は「ポエム大賞」などの各種コンクールを主催し、毎年8月には「平和の鐘を鳴らそう運動」を行い、また栃木県ドッジボール協会様のご支援をいただきながら「ドッジボール選手権大会」を通して青少年の健全育成を願っております。



開倫ユネスコ協会



林明夫会長



寄付金の贈呈

被爆アオギリ2世の苗拝受



シンポジウムの様子

被爆アオギリ2世植樹式

開倫ユネスコ協会創立10周年記念式典・シンポジウム開催の折、まちだ・さがみユネスコ協会、スプリングユネスコクラブを通じ、広島市長から被爆アオギリ2世の苗木を拝受致しました。

11月30日、足利公園において『被爆アオギリ2世 植樹式』を開催させていただきました。御来賓には足利市長の大豆生田実氏をはじめ、足利市都市計画課、(財)足利市みどりと文化・スポーツ財団からの方々など38名の御臨席を賜り、無事終えることができました。

植樹式では開会の辞のあと、開倫ユネスコ協会林明夫会長よりあいさつがありました。広島市から頂いた被爆アオギリ2世を大切に育てていきたい、全世界の核兵器の廃絶を願いたいという強いメッセージが述べられました。

足利市長 大豆生田実氏から御祝辞を頂きました。植樹場所となる足利公園は、足利市で最も古い公園で、その周辺は現在も蔵のあるお宅や神社仏閣が点在する歴史のある地域で、世界平和を願うユネスコの崇高な精神がこのアオギリの植樹を通して足利市民にも伝えられ、ここを訪れる人々にも知って頂けたら幸いです、とのメッセージを頂きました。

この被爆アオギリ2世の苗木は、これまでに広島市から日本国内はもとより全世界に5886本植樹されている、とのお話を広島市のご担当者からお伺いしました。5887本目の被爆アオギリ2世が足利市に参りました。広島市から栃木県に被爆アオギリ2世が贈られるのは今回が初めてのことだそうです。



参加者全体の記念写真



林会長 大豆生田市長



被爆アオギリ2世